

BDF単価の改訂について

2006年5月15日
生活協同組合コープやまなし
フェニックス株式会社
(公印省略)

拝啓

陽春の候、ますますご清栄のことお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、BDF単価について2006年6月1日より改訂させていただきます。

フェニックス 渡し	現行84円(税込)	配達費用込	現行85.3円~87.7円(税込)
	改訂95円(税込)		改訂97円(税込)統一価格

なお、5月26日までに受注いただいた分で、6月供給になってしまう場合は、6月の初回配送のみ税込84円に対応します。

【単価見直しの経過】

BDF事業開始年度の2003年度は税込94.5円で販売を行なっていました。しかし当時軽油市場相場が税込80円前後だったことを受け、利用者確保を優先したいと、フェニックスより2004年度の委託料について値下げ提案がありました。値下げした委託料を単価に反映させることで、税込84円での販売を行なってきました。コープやまなしとしても、資材購入費用や廃棄物処理費用の値下げ交渉を実施し、税込84円での販売を推進しました。

2005年度に入り、BDFを理解するユーザーが増えると、精製するための廃食油が不足し、廃食油回収業者から購入(購入量は約10,000リットルで、BDF1リットルにつき約6円かかっています)せざるを得ない状況となりました。また製造時に使用する資材(苛性カリ、硫酸亜鉛等)も同年10月より値上がりました。

コープやまなしは、BDFプラントの稼働率を高め、生産量を増やすことで、値上げを行なわない方向で進めてきました。こうした中、2005年度石油関連の取引価格は高値が続き、再生可能なBDFを評価する方が増加してきました。その結果、2005年度の販売量は50,400リットル(前年比153%)に達しました。製造量の増大でBDF単価は徐々に下がっていますが、BDF1リットルの事業単価は税抜124円となり、差額はコープやまなしとフェニックスで負担してきているのが実状です。

今年度は、製造量の増加に対応するため運営体制(製造販売スタッフの確保、トラックの購入)を強化する準備を進めており、値下げしました委託料も当初の金額に戻すことになりました。また廃食油の増量(2005年度の廃食油回収量は46,800リットル)をはかるとともに、一定程度の廃食油購入(現在購入単価も値上げが予定されております)も行なう必要があります。今後の展開を考慮しますとBDF単価税込84円では事業的に厳しいと判断しました。さらに地域に貢献できる事業を継続していくためには、一定程度採算性のある事業に転換する必要があると考えています。

以上の点から、BDF単価の見直しを進めました。しかしながら今回のBDF単価の値上げにおいては、BDFのリスクや軽油の市場価格を考慮させていただいた設定となっています。

BDF単価値上げにつきまして、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

以上